

# 池田泉州ホールディングス 決算レポート

## 業績 High Light 第4次中期経営計画〔実績〕

2020年度の当期純利益は**51億円** (前年同期比+12億円)

(コロナ影響が不透明なこともあり、予防的な貸倒引当を実施したが、計画比+11億円で着地)



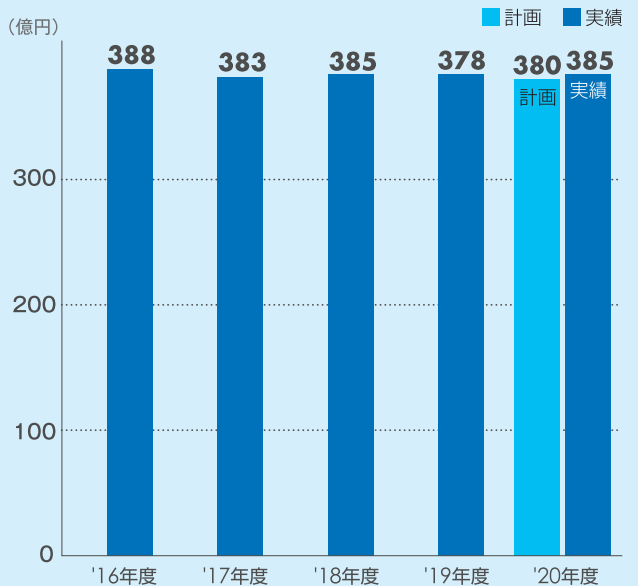
詳細情報は  
コチラ

### 預貸金収支

預金と貸出金の利ざやから得られる

預貸金収支は**385億円**

(前年同期比+7億円)

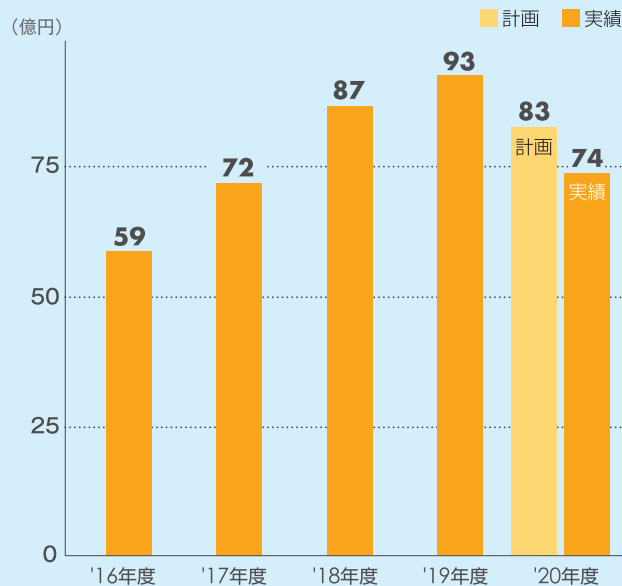


### 非金利収益

個人・法人の手数料を中心とした

非金利収益は**74億円**

(前年同期比▲19億円)



・コロナ影響を受けた地元取引先の資金繰りの応援に注力、事業性貸出のボリュームが大きく増加したことから、預貸金収支は前年同期比+7億円の385億円で着地(計画比+5億円上振れ)

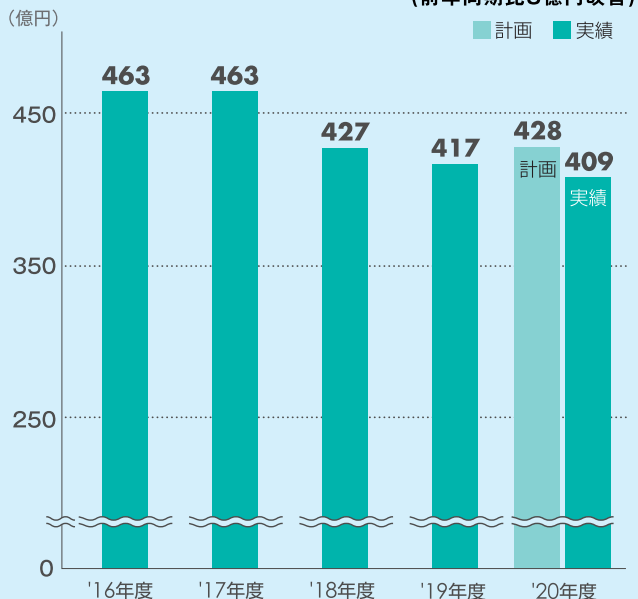
・コロナ禍における営業自粛や、預り資産販売の体制見直し(ストックビジネスへの転換他)により、非金利収益は前年比▲19億円の74億円で着地(計画比▲9億円)

### 経費削減の進捗

人件費・物件費を引き続き抑制

経費は**409億円**

(前年同期比8億円改善)

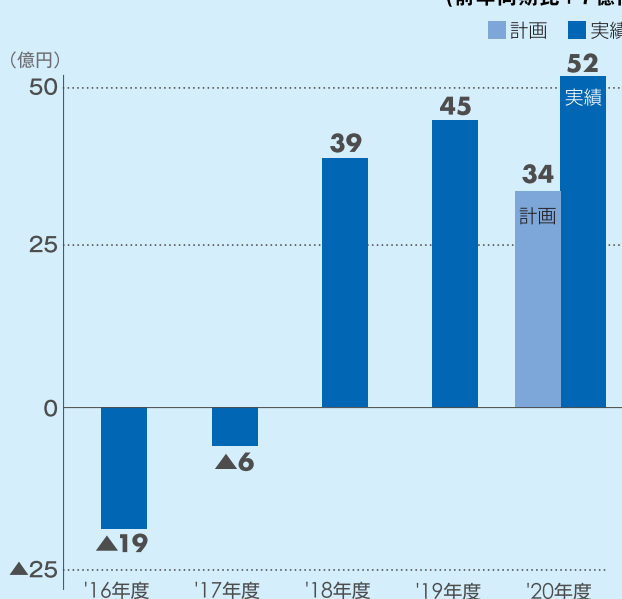


### 本業利益\*の状況

お客さまとの取引から得られる

本業利益は**52億円**

(前年同期比+7億円)



・人件費・物件費を抑制  
・物件費を中心に計画以上の削減が進み、経費は前年比8億円改善の409億円で着地(計画比19億円改善)

・預貸金収支・経費の改善により、非金利収益の減少をカバー。本業利益は前年比+7億円の52億円で着地(計画比+18億円上振れ)

※貸出残高×預貸金回り差+役員取引等利益-営業経費